

特定行為看護師 誕生しました

特定行為
看護師って？

診療部 特定行為看護師 濱田 知美

私は、平成31年度 鹿児島大学看護師特定行為研修を受講し、
「看護師特定行為21区分」のうち下記の3分野5診療行為を習得しました。

創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正

皆さんご存じのとおり、当院には糖尿病内科の常勤医師はおりません。週1回の非常勤の先生を頼りに患者さん方の治療を進めている状態です。非常勤医師は祝日が重なると、3週間以上当院に来られないこともあります。そうすると院内の先生方も糖尿病治療に関する相談ができません。外来の患者さんの困りごとにも速やかに対応できない状況にありました。この状況は、2013年に私が糖尿病看護認定看護師を取得する前からずっと変わらず今にいたります。今まで私は、看護業務・管理業務・認定看護師業務と兼務しながら問題解決に取り組んできましたが、なかなか成果を上げられていないことを感じていました。

今回、特定行為を取得し、自身の活動を自らコーディネートすることとなり、まだ手探りの状況ではありますが、ずっとつかかえていたことに少しずつ取り組んでいきたいと考えています。最終的には糖尿病内科の医師と連携を取りながら、当院の糖尿病患者さんのコンサルテーションを医師を含めた全職種から受けていくことが目標です。

皆さん、温かい目で見守ってください。



診療部 特定行為看護師 中野 智子

「感染に係る薬剤投与関連」の2区分を終了しました。特定行為研修を修了した感染管理認定看護師としての活動についてお話をさせていただきます。

感染制御において、感染防止技術を駆使して微生物の伝播を抑制する「守りの感染制御」、患者さんの治療、抗菌薬適正使用に関わる「攻めの感染制御」の両面が重要とされています。今回特定行為看護師を目指した理由は「攻めの感染制御」に取り組みたいと思ったからです。

抗菌薬の不適切な使用を背景として、薬剤耐性菌が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬の開発は減少傾向にあり、国際社会でも大きな課題となっています。今ある抗菌薬を大切に使用する、「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」使用することを徹底しなければなりません。当院でも抗菌薬適正使用支援チーム（AST）が設置され活動を行っています。その活動の中で、培養検査結果の確認、必要に応じて培養検査、抗菌薬変更の提案などを行っていききたいと思います。今後は状況を確認するために患者さんのベッドサイドに伺うことも増えてくると思いますので、よろしくお願いいたします。

<2020年度目標>



山形県立総合医療センター
市民病院

看護部 「働き続けられる職場環境づくり」をテーマに

1. 転倒・転落の損傷事例の削減
2. 残業時間の削減

この2つを目標に掲げていきます。

転倒・転落の損傷事例は、全国平均より高く抑制廃止への取り組みに伴い、ご苦労されていると思います。

何とかこの損傷率を減少させ全国平均にもっていくことは必須です。

残業時間につきましては、みなさんの個々の生活を充実させ、仕事に取り組んでもらいたいという思いがあります。

去年は2割減でした。今年度は、セル看護提供方式を取り入れ、ムダを省き、常に何が看護で何が看護でないの視点をもち看護に取り組みさらなる業務改善に取り組んでいきたいと思っています。ご協力をお願いいたします。



3階東病棟 「患者のために」を考えられる看護

当病棟では入院患者の約40%が80歳以上の高齢者であり、日常生活に何らかの援助が必要な方が多い現状を踏まえ、患者にどのような援助が必要なのか常に考える看護をめざしていきます。

具体的な行動

- ① 専門的知識の習得：整形外科・脳神経内科の主要疾患の学習
- ② 倫理的な視点で看護を考える：認知症・せん妄の理解を深め、倫理的問題に関するカンファレンスを行う

4階東病棟 “患者・家族に大切にしたいと感じられる看護提供”

2020年度 看護部は①セル看護提供方式の導入・定着 ②時間外勤務の大幅削減の大きなテーマに向かって活動します。その活動を達成させながら自分たちの進むべき道を明確にするために、この目標に掲げました。時間外勤務を削減する事は自分たちの行動を大きく変化することも求められます。その状況にあっても患者・家族に安心・安全を提供するためにセル看護提供方式への変更です。自分たちの意識改革を行いながら、ブレない姿勢で看護提供を行えるように活動してまいります。

4階西病棟 「患者さん・スタッフ双方に優しい看護の提供」

セル看護方式を導入しベッドサイドに看護師がいることで細やかな対応と、ブロック編成によりお互いの看護を見ながら共に成長できるのではないかと考えています。また、ブロック間で協力し合いながら、定時で帰宅できるような工夫と働きやすい環境を調整し、スタッフにも優しい病棟を目指します。

地域包括ケア病棟 「地域につなげる退院支援～チームで患者・家族を支える～」

地域包括ケアの使命として、患者さんを地域へ安心して退院できるように支援することがあげられます。そのために多職種と連携し、退院に向けた指導やリハビリ、社会的資源の活用など、患者・家族が安心して住み慣れた地域に帰れるよう、個別性に応じた退院支援を実践することが地域包括ケア病棟看護師は求められています。

一人一人の看護師が目標達成に向けて行動をしたいと考えています。

回復リハビリ病棟 「情報の共有と協働を行い、先取り看護の実践！」

目的：患者のそばに看護師がいることで、早期ケアの介入を行い、安心で安全な看護を提供するセル看護方式を実践する

<目標達成のための行動目標>

1. ナースコールの減少
2. 転倒転落の減少
3. 身体抑制の減少
4. 認知症ケア看護の充実
5. 患者満足度の向上
6. 超過勤務の減少



外 来 「目指せ！！“スキルアップ”～信頼され、安心・安全な看護提供の為に～」

ワークライフバランスを図り、今、自分に足りないものを一つでも多く習得し、できる事を増やすことで、個人のモチベーションアップを図り、自他共に成長していくことを目標にしています。また、一人でも多くの患者に質の高い看護を提供できるよう取り組んでいきます。

手術室「責任と思いやりの心を持ち、こころに寄り添う看護を提供する」

チーム脳外：「術後シバリング予防を意識した手術看護を提供できる」

チーム外科：「術後感染予防を意識した手術看護を提供できる」

チーム整形：「やるべきことを確実に、安心・安全な手術看護が提供できる」

「病棟看護師と連携を図り、継続看護へつなげることができる」

安心・安全に手術看護が提供できるよう各チームや病棟と協力しながら周術期看護に取り組んでいきたいと思っています。





新入職者 紹介

神村学園専修学校を卒業し、今年度より看護部に入職いたしました。知識不足でまだまだ分からないことばかりですが、看護師としてのスタートラインに立つことができ本当に嬉しく思います。これから先輩にご指導をいただきながら、一つ一つ自分にできることを増やしていきたいと思っています。ご迷惑をおかけしますが、日々勉強し成長できるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3階東病棟 宮内

神村学園専修学校を卒業し4月より入職いたしました。K-POPがとても好きでイケメンアイドルに貢いでいます。仕事に慣れて、コロナが収まったらライブに行きたいと考えています。特技は剣道ですが、剣道しかしてこなかったのが運動音痴です。

配属されてから2週間ほどで慣れない事、わからないことが多いですが、先輩方が優しく丁寧に教えて下さるので、毎日楽しくやりがいを持って仕事が出ています。多くのことを学び、吸収して成長できるように日々努力します。よろしくお願い致します。

4階東病棟 早瀬

今年度より、看護師として入職致しました。食べる事が好きです。川内に来て間もないので、まだ美味しいお店を開拓中です。おすすめのお店があればぜひ、教えて下さい。

早く正しい知識と技術を身につけ安全・安楽なケアを提供し、患者様やご家族の方から信頼される看護師になれるように頑張りたいと思います。働き始めて日も浅く、分からないことも多いですが、どうぞ宜しくお願い致します。

4階西病棟 吉村



神村学園専修学校を卒業し、新人看護師として4月より入職しました。病棟では、初めて経験することばかりで緊張や不安な思いでいっぱいですが、一つ一つ学んでいき看護師として成長していきたいと思っています。先輩看護師の方々を見てたくさんのことを学んでいきたいと思っています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

4階東病棟 松山



4月より入職し3階東病棟に配属となりました。学生の時とは求められる知識や技術の質が全く違い分からないことが多く、戸惑ってばかりでご迷惑をおかけしています。どんなに忙しい勤務に追われながらも患者さんと笑顔で接し思いやりを忘れない先輩方のような看護師になることを目標に日々勉強に励みます。よろしくお願い致します。

3階東病棟 緒方



4月に入職し、3階東病棟に配属となりました、福永です。分からないことが多く、覚える事に必死ですが、笑顔忘れず先輩方からのご指導のもと学びを深めていきたいと思っています。

精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

3階東病棟 福永

4月より、回復リハビリ病棟に配属になりました大曲です。配属されてから1ヵ月が経ち、今は業務を覚えるのに必死です。趣味は、好きなアーティストのLIVEに行くことです。

看護師としての目標は、患者さんやご家族の方に信頼される看護師になれるよう、日々頑張っていますので、ご指導ご助言のほどよろしくお願い致します。

回復リハビリ病棟 大曲

3階東病棟 上白石

今年度、エルダーとして食事介助・口腔ケアについて講義を担当しました。新人さんに向けて講義を行う中で、特に心に残っているのは、事例をもとに新人さん同士で食事介助を実施してもらった場面です。新人さんから「ミキサー食など食物の形態が分からない場合、匂いや色など分かる範囲で声掛けをしながら介助していくことの必要性を感じた」や「頸部前屈位という用語は知っていたが実際自分が介助される中で頸部前屈位に調整する事で嚥下がしやすいことに気づいた。」など感想があり、新人さんの反応が新鮮で私自身初心にかえる良いきっかけとなりました。

今回講義で感じたことを大切に新人さんの立場にたちながら指導していけるようにしていきたいと思います。



4階東病棟 田代

4階東病棟では、血糖測定、採血などの看護技術を担当し、講義を行いました。看護学校で学んでいた内容であっても、実際に行う事に関して不安や戸惑いを感じるとと思います。講義は新人看護師の反応を見ながら丁寧に一から説明する、自分自身が体験し学んだ事を伝える事で、少しでも新人看護師の理解を深められる様に心掛けました。また、分かりやすく行うために看護技術を改めて学び直したり、普段の実践内容を振り返る事で、自身の知識、技術に向上する事に繋がったのではないかと思います。



マイブーム



私の最近ひそかにはまっているマイブームはキャンドルです。揺らめくキャンドルの炎は『1/fゆらぎ（エフぶんのイチゆらぎ）』と呼ばれるゆらぎです。『1/fゆらぎ』とは、小鳥のさえずりや波、小川のせせらぎ、そよ風など自然現象にみられるリズムのことをいいます。キャンドルの灯がゆれるのを見ているとなんだか心が落ち着き、お気に入りの椅子に座り、スマートフォンやテレビから離れ、ゆったりとした時間を過ごしていると、ほっと心が落ち着きます。今、コロナウイルスで緊迫した日常から一時的に離れ、日々の生活に豊かさを取り入れる一つ的手段としてご紹介しようと思った次第です。円柱型以外にも四角柱型、ドーナツ型、リンゴの形やドライフラワーの入ったかわいいキャンドルなどいろいろな形、色、種類があります。インテリアとして飾るも、火を灯して癒されるのも、香りに癒されるのもいいし、いいところどりなので皆さんも試してみてください。

外来 木村



ミニナラティブ

70代男性、COPDにてHOT導入あり当院フォロー中の患者様を受け持ちました。COPD終末期と診断されていました。呼吸状態は日に日に悪化し家族と相談、BIPAP導入を行うことになりました。しかし本人の拒否が強くすぐに外してしまいました。圧迫されることを苦痛に感じていたようです。何度か説明し装着しましたが、拒否が強く、ご家族にも相談したうえでBIPAPは装着せず、酸素投与のみで様子を見ていくことになりました。本人は帰宅願望が強く、自宅退院を検討していましたが、日に日に病状が進行し、亡くなられました。

私は患者様との関わりについて振り返りました。COPDは可能な限り早期に診断し、治療を開始すれば呼吸機能の低下を防ぎ、QOLやADLを維持することが可能といわれています。文献にCOPDの終末期はQOLの向上とADLの維持には多職種専門科がかかわる医療チーム主体の包括的・全人的医療が望まれるとありました。主治医や病棟スタッフには関わり方について相談したり、意見を聞いたりしていましたが、ほかにもPT,OT、薬剤師、栄養士、MSWさん等スタッフとも積極的にカンファレンスができたら、よりよい終末期を過ごすことができたのではないかと考えました。今回受け持った患者様だけでなく、他の患者様に関しても多職種連携を図り、退院支援・援助ができたと思います。スタッフの皆さん、いろいろ相談させてください。よろしくお願いします。

地域包括ケア病棟 森田

編集後記

新型コロナウイルス感染症予防対策にて4月・5月のラダー集合研修は自己学習・課題へと変更しました。学習を進めるにあたり、学研eラーニングも活用して頂けるとよいですね。(山口)

